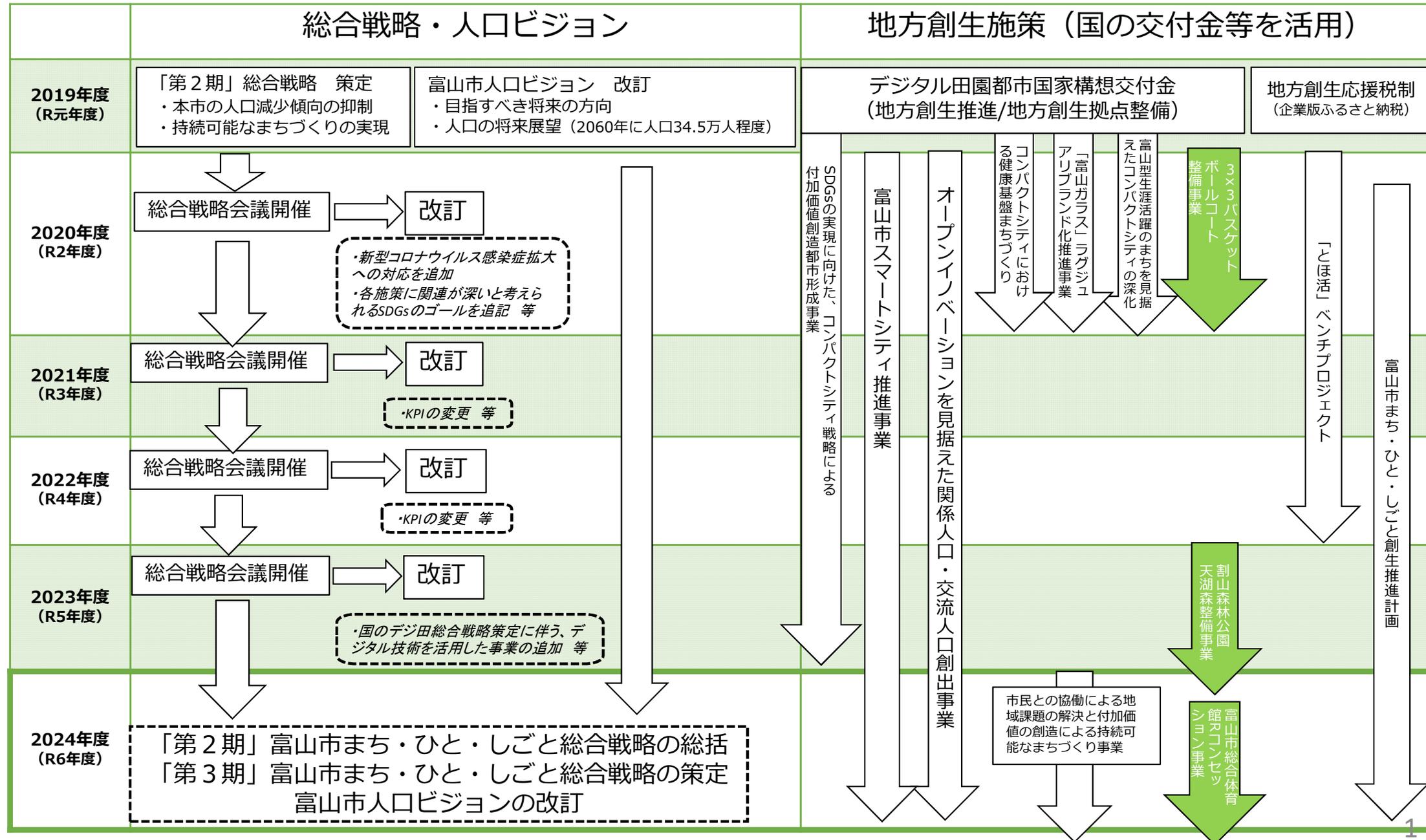


「第2期」富山市まち・ひと・しごと総合戦略の検証について

- 1 地方創生の取組状況(2020～2024年度)
- 2 「数値目標」と「KPI(重要業績評価指標)」の進捗状況
- 3 「第2期」富山市まち・ひと・しごと総合戦略の検証

1 地方創生の取組状況(2020~2024年度)

本市の人口減少傾向を抑制し、長期的に持続可能なまちづくりを目指すため、2019（R元）年度に「第2期」富山市まち・ひと・しごと総合戦略を策定し、地方創生の取組を推進



「第2期」富山市まち・ひと・しごと総合戦略概要（2024.3改訂版）

人口ビジョン【改訂版】

富山市の人口推移

●総人口は減少局面へ

- 合併前の旧市町村を合わせた総人口は1950年に30万人、1985年に40万人を超えた
- 1990年頃から人口の増加傾向が緩やかになり、2000年頃からはほぼ横ばいで推移していたが、2010年をピークに減少傾向が続いている
- 2010年10月1日現在人口：421,953人（国勢調査）
（2024年9月1日現在人口：404,115人）（富山県人口移動調査）

●自然動態

- 2004年までは、出生数が死亡数を上回る「自然増」、2005年以降は出生数より死亡数が上回る「自然減」
- 「自然減」に転じて以降は、出生数と死亡数の差は大きくなる一方で、2017年には年間の出生数より死亡数が1,646人超過（2022年：2,778人超過）
- 少子高齢化の進行とともに、今後人口の自然減少が一層強まっていく見通し

●社会動態

- 2003年以降は転入者数が転出者数を上回る年が多く、2007年と2013年を除いて転入超過
- 転入者数及び転出者数の実数は2014年まで減少傾向にあったが、近年は増加傾向が続いている（2023年12月末時点で、（2021年を除く）転入超過の傾向が続いている）

中長期的展望（2020年～2060年）

●目指すべき将来の展望

2060年に人口34.5万人程度（目標）

- 出生率の向上
（富山市民の希望出生率である1.88を目標）
 - 人口社会増の維持
- ↓
- 50年前と同等の人口水準を維持

●富山市の目標人口



（注）純移動率：平成25（2013）年9月と平成30（2018）年9月の住民基本台帳人口から、移動率を算出（旧市町村ごと）、将来にわたって傾向は変化しないと仮定し、合計特殊出生率：令和42（2060）年までに出生率が1.88まで上昇することを想定して推計

総合戦略（令和2年度～令和6年度の5年間）

（基準値 → 令和6年度の目標値）

基本目標及び数値目標	基本的方向	具体的な施策及び重要業績評価指標(KPI)
基本目標1 産業活力の向上により、安定した雇用を創出する ～地方の中核を担う都市として躍動するまち～ <ul style="list-style-type: none"> ●工業統計における従業員4人以上の事業所の年間製造品出荷額等 [2016年] 12,550億円 → [2024年] 15,475億円 ●富山市内における雇用保険被保険者数 [2018年度] 173,796人 → [2024年度] 174,000人 ●富山市内における正社員の有効求人倍率 [2018年度] 1.51倍 → [2024年度] 1.51倍 	<ul style="list-style-type: none"> (ア) 中小企業の振興及び既存産業の高付加価値化 (イ) 新産業の創出及び公民連携による雇用の創出 (ウ) 農林水産業の成長産業化 (エ) サービス産業の活性化 (オ) 企業誘致の促進 (カ) 雇用のマッチングの強化 (キ) 企業に関する情報発信の充実 (ク) 大学・高等学校等との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ●新商品の販路開拓支援 [ベンチャー企業等新商品市場創出促進助成金交付件数：6件(2018年度) → 12件(累計)] ●オープンデータの活用促進 [オープンデータサイト公開データセット数：82件(2018年度) → 125件(累計)] ●企業版ふるさと納税の活用促進 [企業版ふるさと納税を活用し本市へ寄附を行った企業数：新規 → 25社(累計)] ●エゴマの6次産業化 [富山えごま認定商品数：84商品(2018年度) → 140商品(累計)] ●スマート農業導入の実証 [スマート農業機器導入台数(市補助分)：1台(2018年度) → 15台(累計)] ●健康長寿コンサルジュ・サービス [開催するプログラム数：4件(2019年度) → 25件(累計)] ●企業誘致・企業立地の奨励 [誘致・立地をPRした企業数：39社(2018年度) → 320社(累計)、設備投資助成件数：54件/年(2018～2018年度平均) → 366件(累計)] ●求職者への職業紹介 [市無料職業紹介所の来所者数：1,943人(2018年度) → 10,000人(累計)] ●若年者の就職支援 [企業説明会の参加者数：661人(2018年度) → 4,000人(累計)] ●大学・高等学校等との連携 [授業・講演会の開催回数：6回(2019年度) → 35回(累計)、参加者数：820人(2019年度) → 5,000人(累計)] ●移住者の受入促進 [移住ツアー参加者数：新規 → 5組10人] ●中古住宅の活用 [空き家情報バンクへの新規物件登録件数：5件(2018年度) → 60件(累計)] ●コンベンション開催支援 [コンベンション等参加総数：43,088人(2018年度) → 47,400人] ●外国人観光客の誘致促進 [市内宿泊施設外国人延べ宿泊者数：137,806人(2018年度) → 158,000人] ●富山ガラスのブランド化 [市ガラス美術館ショップガラス関連商品売上高：18,360千円(2018年度) → 100,000千円(累計)] ●割山森林公園天湖森の再整備 [コテージ、ログハウス等の利用者数：9,483人(2018年度) → 10,500人]
基本目標2 交流・定住を促進し、富山市への新しい人の流れをつくる ～選ばれるまち～ <ul style="list-style-type: none"> ●人口の社会増(転入-転出) [2014～2018年度] 4,014人 → [2024年度累計] 2,500人 ●マルチハビテーションの推進(富山市マルチハビテーション推進事業の補助を受けた件数) [2018年度] 2件 → [2024年度累計] 10件 ●交流人口(観光客入込数) [2018年度] 年間798万人 → [2024年度] 年間821万人 ●県内大学卒業生の県内就職率 [2018年度] 43.5% → [2022年度] 50% ●県内高校出身の県外大学生のUターン就職率 [2018年度] 58.4% → [2022年度] 60% 	<ul style="list-style-type: none"> (ア) 地方移住の推進・関係人口の創出 (イ) 広域型観光の推進と外国人観光客の誘致 (ウ) 地域資源を活用したコンテンツづくり (エ) 大学・高等学校等との連携強化(再掲) (オ) シティプロモーションの推進 (カ) シビックプライドの醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ●選ばれるまちづくりの推進(シティプロモーション) [シティプロモーション事業による富山市から発信する情報の閲覧・投稿者数：346,417人(2018年度) → 580,000人] ●選ばれるまちづくりの推進(シビックプライドの醸成) [シビックプライド醸成事業への主体的参加者数：5,225人(2018年度) → 28,500人(累計)] ●希望する時期に妊娠・出産できる環境づくりの推進 [出前講座開催件数：1回(2018年度) → 年間5回] ●切れ目ない子育て支援 [妊娠・出産について満足している者の割合：88%(2018年度) → 90%] ●地域子育て支援拠点等の整備 [①拠点箇所数：14か所(2018年度) → 17か所] ●地域児童の健全な育成と子育て支援 [子ども会及び放課後児童クラブの利用延べ人数：791,711人(2018年) → 4,175,000人(累計)]
基本目標3 生活環境の一層の充実を図る ～すべての世代が安心して暮らせるまち～ <ul style="list-style-type: none"> ●合計特殊出生率 [2018年] 1.55 → [2024年度] 1.57 ●現在の健康状態について健康であると感じている市民の割合 [2016年度] 81.1% → [2024年度] 80.3%以上 ●健康な高齢者の割合 (65歳以上の高齢者で、介護保険の要支援・要介護認定を受けていない人の割合) [2018年度] 前期高齢者95.7% 後期高齢者66.6% → [2021年度] 前期高齢者96%以上維持 後期高齢者66%以上維持 ●保育ニーズの充足 [2019年度] 待機児童ゼロ → [2024年度] 待機児童ゼロを維持 	<ul style="list-style-type: none"> (ア) 子ども・子育て支援の充実 (イ) ワーク・ライフ・バランスの実現 (ウ) 総合的な生活支援サービスの提供 (エ) 健康都市の実現 (オ) 防災減災対策の推進 (カ) 歩きたくなまるまちづくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●希望する時期に妊娠・出産できる環境づくりの推進 [出前講座開催件数：1回(2018年度) → 年間5回] ●切れ目ない子育て支援 [妊娠・出産について満足している者の割合：88%(2018年度) → 90%] ●地域子育て支援拠点等の整備 [①拠点箇所数：14か所(2018年度) → 17か所] ●地域児童の健全な育成と子育て支援 [子ども会及び放課後児童クラブの利用延べ人数：791,711人(2018年) → 4,175,000人(累計)] ●雇用環境の改善促進 [訪問企業数：24社(2018年度) → 120社(累計)] ●地域包括ケアシステムの構築 [まちなかサロン利用者数：9,145人(2018年度) → 48,980人(累計)] ●高齢者の外出機会の促進 [市内の孫とおでかけ支援事業対象施設の総入場者数に占める本事業の利用者の割合：3.4%(2018年) → 3.4%] ●ライフライン共通プラットフォームによる暮らしの質の向上 [道路損傷通報システムへの通報件数：新規 → 300件(累計)] ●市民の主体的な健康づくりの推進 [健康であると感じる市民の割合：81.1%(2018年度) → 80.3%以上] ●自主防災組織の育成支援 [自主防災組織の組織率：67.2%(2018年度) → 77.2%] ●歩くライフスタイル推進事業等[富山駅周辺地区の歩行者数：平日 38,824人/日(2014年度) → 40,000人/日(2021年度) 休日：30,420人/日(同) → 32,000人/日(2021年度)]
基本目標4 持続可能な都市経営・まちづくりを推進する ～公共交通を軸としたコンパクトなまち～ <ul style="list-style-type: none"> ●沿線居住(公共交通が便利な地域に住む)人口の割合 [2019年度] 38.8% → [2024年度] 41.5% ●中心市街地における人口の社会増(転入-転出) [2006～2015年度平均] 74人/年 → [2024年度累計] 370人 ●公共交通1日平均利用者数の富山市人口あたりの割合 [2018年度] 15.7% → [2024年度] 15.8% ●富山駅周辺地区の歩行者数 [2014年度] 平日 38,824人/日 日曜日 30,420人/日 → [2021年度] 平日 40,000人/日 日曜日 32,000人/日 ●総曲輪通りの歩行者数 [2018年度] 日曜日 25,300人/日 → [2024年度] 3,500人程度の増加 ●エネルギー効率の改善ペース(エネルギー消費量の削減割合) [2015年度] 0.5% → [2022年度] 1.1% 	<ul style="list-style-type: none"> (ア) 公共交通と中心市街地の活性化 (イ) 中心市街地と公共交通沿線居住推進地区への居住誘導 (ウ) 中山間地域等の地域生活拠点の形成 (エ) 既存施設のマネジメント強化 (オ) SDGs未来都市の推進 (カ) 連携中核都市圏の連携強化 (キ) 「富山市版スマートシティ」の実現に向けた取組 (ク) 歩きたくなまるまちづくりの推進(再掲) (ケ) 新産業の創出及び公民連携による雇用の創出(再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> ●中心市街地の活性化及びまちなかの賑わい創出 [グランドプラザ年間稼働率：92.9%(2018年度) → 100%] ●まちなか居住の推進 [まちなか居住推進事業により補助を受けた世帯数：70世帯/年(2014～2018年度平均) → 500世帯(累計)] ●公共交通沿線の居住推進 [公共交通沿線居住推進事業により補助を受けた世帯数：100世帯/年(2014～2018年度平均) → 900世帯(累計)] ●中山間地域等の公共交通空白地域解消と生活交通の維持 [公共交通空白地域人口率：2.0%(2018年度) → 現状維持を目指す] ●ファシリティマネジメントの推進 [アクションプラン対象の公共施設のうち、機能を維持することとした施設や、廃止等の見直しが完了した施設：85件(2019年度末) → 145件(累計)] ●自立分散型エネルギーインフラ・ネットワークの形成 [エネルギー効率の改善ペース：0.5%(2015年度) → 1.1%(2022年度)] ●圏域全体の経済成長のけん引 [圏域の総人口：501,870人(2015年度) → 490,000人程度] ●スマートシティ推進支援事業 [「富山市スマートシティ推進プラットフォーム」(通称：SCRUM-T)への参画企業数：新規 → 100社] ●デジタルバイト対策推進事業 [各種セミナーに参加した高齢者等の人数：新規 → 200人] ●電子回覧板導入支援事業 [補助金交付件数：12件(2022年度まで) → 50件]

2 「数値目標」と「KPI(重要業績評価指標)」の進捗状況

「第2期」総合戦略の成果の検証にあたって、数値目標とKPIの進捗を下記に分類し、達成状況を分析

A. 目標達成に向けて進捗している

◎. 2023年度末時点で目標を達成している (■)

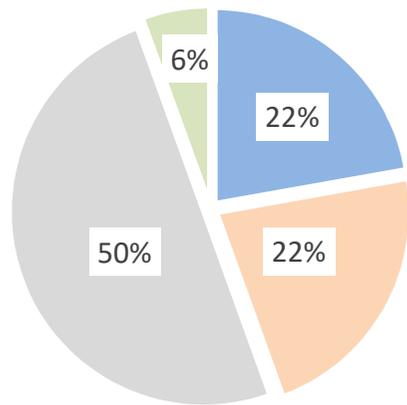
○. 2023年度末時点で目標を達成していないが、2024年度に目標を達成する見込み (■)

B. 現時点では、政策効果が十分に現れておらず、目標の達成に至っていないもの (■)

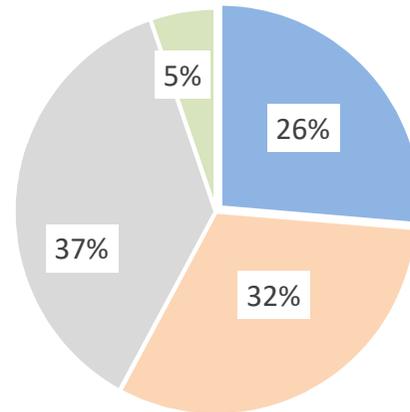
C. その他 (現時点において、統計上の実績値を把握するための調査時期が到来していないもの) (■)

「数値目標」(18件)と「KPI」(95件)の進捗状況

<基本目標の数値目標>



<各種施策のKPI>



(A◎とA○の割合)

基本目標の数値目標
: 44%

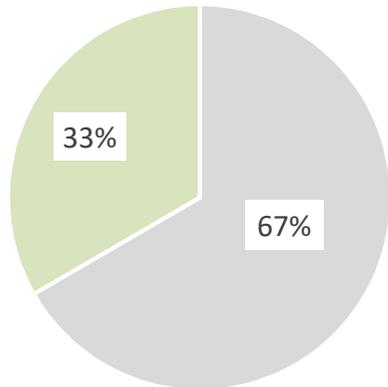
各種施策のKPI
: 58%

	基本目標の数値目標		各種施策のKPI	
	件数	割合	件数	割合
A◎ (目標達成)	4件	(22%)	25件	(26%)
A○ (目標達成見込)	4件	(22%)	30件	(32%)
B (目標達成に至っていない)	9件	(50%)	35件	(37%)
達成率90%以上	5件	(28%)	2件	(2%)
達成率70%—90%未満	2件	(11%)	9件	(10%)
達成率70%未満	2件	(11%)	24件	(25%)
C (その他 (実績値把握不可等))	1件	(6%)	5件	(5%)
合計	18件	(100%)	95件	(100%)

2 「数値目標」と「KPI(重要業績評価指標)」の進捗状況

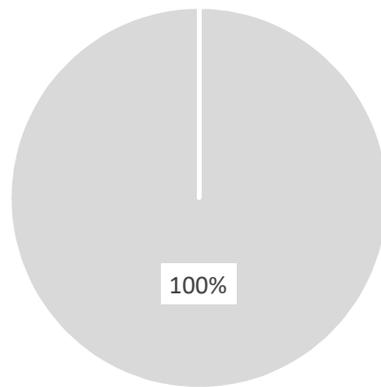
(1) 各基本目標の数値目標（2024年度目標）の進捗状況

<基本目標1> 安定した雇用を創出



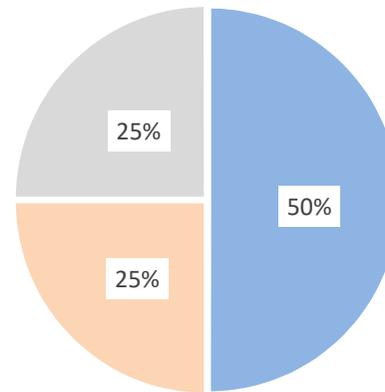
数値目標：3件

<基本目標2> 新しい人の流れをつくる



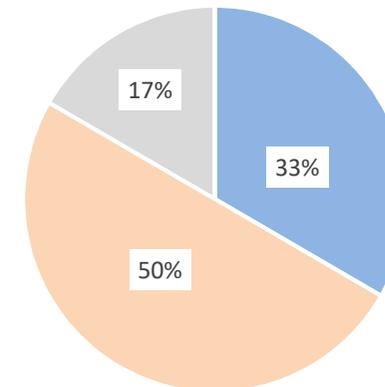
数値目標：5件

<基本目標3> 生活環境の一層の充実



数値目標：4件

<基本目標4> 持続可能なまちづくり



数値目標：6件

■ A◎(目標達成)
■ AO(目標達成見込)
■ B(目標達成に至っていない)
■ C(その他)
(実績値把握不可等)

○主な数値目標

市内雇用保険被保険者数 ：174,000人(2024年度)
173,796人(2018年度) ➔172,382人(2023年度)

人口の社会増(転入-転出) ：2,500人(2020~2024年度計)
4,014人(2014~2018年度計) ➔530人(2020~2023年度計)

合計特殊出生率 ：1.57(2024年)
1.55(2018年) ➔1.45(2022年)

公共交通が便利な地域に住む人口の割合 ：41.5%(2024年度)
38.8%(2019年度) ➔40.0%(2023年度)

市内正社員の有効求人倍率 ：1.51倍(2024年度)
1.51倍(2018年度) ➔1.31倍(2023年度)

県内大学卒業生の県内就職率 ：50%(2022年度)
43.5%(2018年度) ➔46.0%(2022年度)

現在の健康状態について健康 であると感じている市民の割合 ：80.3%以上(2024年度)
81.1%(2016年度) ➔80.3%(2023年度)

公共交通1日平均利用者数の人口あたりの割合 ：15.8%(2024年度)
15.7%(2018年度) ➔15.6%(2023年度)

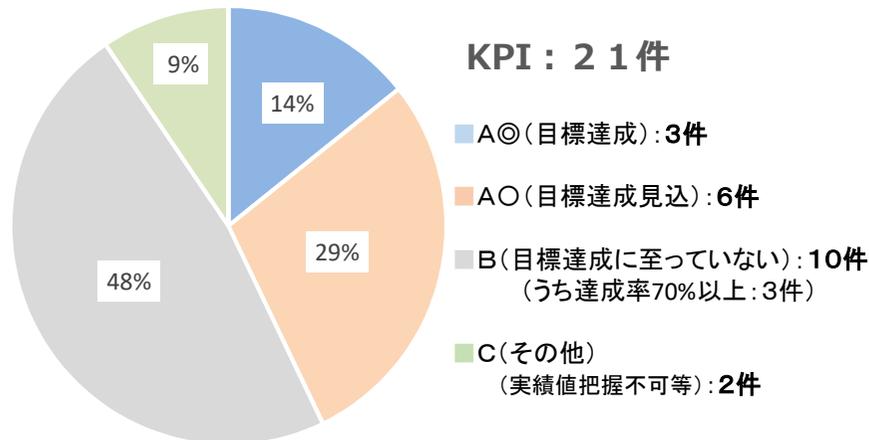
2 「数値目標」と「KPI(重要業績評価指標)」の進捗状況

(2) 各種施策のKPI (2024年度目標) の進捗状況

<基本目標1> 安定した雇用を創出 基本的方向・具体的な施策

<p>(ア) 中小企業の振興及び既存産業の高付加価値化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の販路開拓支援 ・中小企業の創業等の支援 	<p>(エ) サービス産業の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康長寿コンシェルジュ・サービス
<p>(イ) 新産業の創出及び民間と協働した地域経営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PPP/PFI事業の活用促進 ・オープンデータの活用促進 ・企業版ふるさと納税の活用促進 	<p>(オ) 企業誘致の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致 ・企業立地の奨励
<p>(ウ) 農林水産業の成長産業化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・えごまの6次産業化 ・農業に関わる人材育成と支援 ・園芸作物の振興対策 ・スマート農業導入の実証 ・スマート農業機械である除草ロボットの研究調査 ・海外・国内市場開拓の支援 	<p>(カ) 雇用のマッチングの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求職者への職業紹介 ・高いスキルを持つ65歳以上の高齢者と企業のマッチング
	<p>(キ) 企業に関する情報発信の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年者の就職支援
	<p>(ク) 大学・高等学校等との連携強化</p>

各施策のKPI進捗状況



目標の達成に向けて進捗している施策(A◎・AO)

企業版ふるさと納税の活用促進 (寄附を行った企業数)
: 25社 (2020~2024年度累計)
 新規 ➡ **24社(2020~2023年度累計)**

スマート農業導入の実証 (スマート農業機器導入台数 (市補助分))
: 15台 (2020~2024年度累計)
 1台 (2018年度) ➡ **18台(2020~2023年度累計)**

目標の達成に至らない施策(B)

若年者の就職支援 (企業説明会の参加者数)
: 4,000人 (2020~2024年度累計)
 661人 (2018年度) ➡ **2,218人(2020~2023年度累計)**

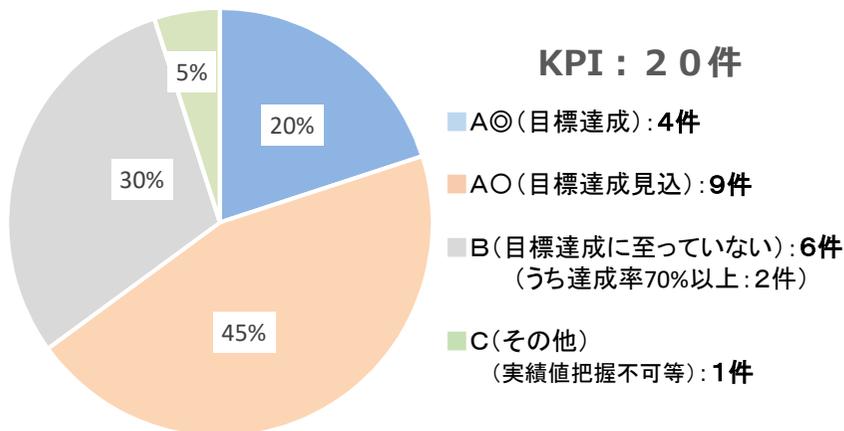
2 「数値目標」及び「KPI(重要業績評価指標)」の進捗状況

(2) 各種施策のKPI (2024年度目標) の進捗状況

<基本目標2> 新しい人の流れをつくる 基本的方向・具体的な施策

<p>(ア) 地方移住の推進・関係人口の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中古住宅の活用 ・2地域居住への支援 ・ふるさとでの同居促進 ・ビジネス交流促進による関係人口の拡大 ・移住者の受入促進 	<p>(エ) 大学・高等学校等との連携強化 (再掲)</p>
<p>(イ) 広域型観光の推進と外国人観光客の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンベンション開催支援 ・外国人観光客の誘致促進 	<p>(オ) シティプロモーションの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選ばれるまちづくりの推進 (シティプロモーション)
<p>(ウ) 地域資源を活用したコンテンツづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山ガラスのブランド化 ・新商品開発に取り組む事業者への商品力向上支援 ・スポーツ拠点の活用 ・くすり関連施設の整備 ・オーバード・ホール/中ホールの整備 ・割山森林公園天湖森の再整備 	<p>(カ) シビックプライドの醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選ばれるまちづくりの推進 (シビックプライドの醸成)

各種施策のKPI進捗状況



目標の達成に向けて進捗している施策(A◎・AO)

<p>中古住宅の活用 (空き家情報バンクへの新規物件登録件数)</p> <p>: 60件 (2020~2024年度累計) 5件 (2018年度) → 46件(2020~2023年度累計)</p>
<p>ビジネス交流促進による関係人口の拡大 (Sketch Labで実施する課題解決型プロジェクトへの市外からの参加人数)</p> <p>: 600人 (2020~2024年度累計) 新規 → 646人(2020~2023年度累計)</p>

目標の達成に至らない施策(B)

<p>外国人観光客の誘致促進 (市内宿泊施設外国人延べ宿泊者数)</p> <p>: 158,000人 (2024年度) 137,806人 (2018年度) → 90,682人(2023年度)</p>

2 「数値目標」及び「KPI(重要業績評価指標)」の進捗状況

(2) 各種施策のKPI (2024年度目標) の進捗状況

<基本目標3> 生活環境の一層の充実 基本的方向・具体的な施策

(ア) 子ども・子育て支援の充実

- ・希望する時期に妊娠・出産できる環境づくりの推進
- ・切れ目ない子育て支援（富山市版ネウボラ）
- ・地域子育て支援拠点等の整備 ・地域児童の健全な育成と子育て支援
- ・生活保護世帯の子ども及び児童養護施設に入所している子どもの進学奨励
- ・ひとり親家庭の子どもの進学奨励

(イ) ワーク・ライフ・バランスの実現

- ・雇用環境の改善促進

(ウ) 総合的な生活支援サービスの提供

- ・地域包括ケアシステムの構築 ・高齢者の外出機会の促進
- ・ライフライン共通プラットフォームによる暮らしの質の向上

(エ) 健康都市の実現

- ・市民の主体的な健康づくりの推進

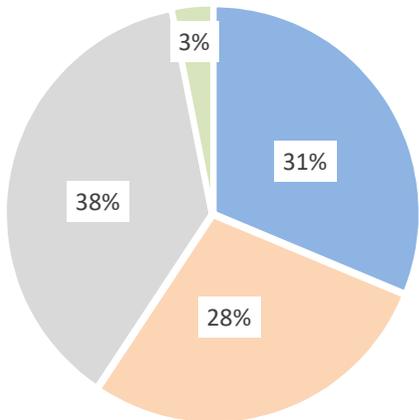
(オ) 防災減災対策の推進

- ・自主防災組織の育成支援

(カ) 歩きたくなるまちづくりの推進

- ・歩くライフスタイル推進事業 ・JR高山本線活性化事業
- ・AIカメラ等によるスマートプランニング事業
- ・スポーツ実施率の向上と歩くスポーツの推進

各種施策のKPI 進捗状況



KPI : 32件

- A◎(目標達成) : 10件
- AO(目標達成見込) : 9件
- B(目標達成に至っていない) : 12件
(うち達成率70%以上: 5件)
- C(その他)
(実績値把握不可等) : 1件

目標の達成に向けて進捗している施策(A◎・AO)

切れ目ない子育て支援（妊娠・出産について満足している者の割合）
: **90% (2024年度)**
88% (2018年度) → **91.8%(2023年度)**

自主防災組織の育成支援（自主防災組織の組織率）
: **77.2%継続実施 (2024年度)**
67.2% → **75.8%(2023年度)**

目標の達成に至らない施策(B)

雇用環境の改善促進（訪問企業数）
: **120社 (2020~2024年度累計)**
24社 (2018年度) → **72社(2020~2023年度)**

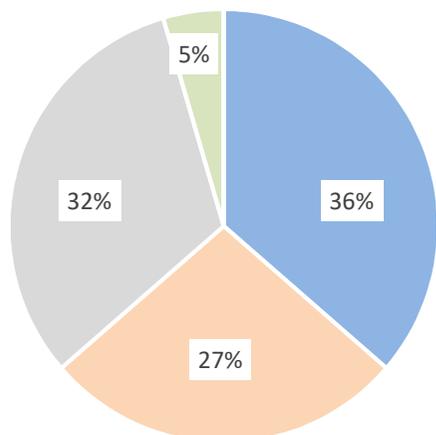
2 「数値目標」と「KPI(重要業績評価指標)」の進捗状況

(2) 各種施策のKPI (2024年度目標) の進捗状況

<基本目標4> 持続可能なまちづくり 基本的方向・具体的な施策

(ア) 公共交通と中心市街地の活性化 ・ 中心市街地の活性化及びまちなかの賑わい創出 ・ 中心市街地における大型商業施設等の誘致	(オ) SDGs未来都市の推進 ・ 自立分散型エネルギーインフラ・ネットワークの形成
(イ) 中心市街地と公共交通沿線居住推進地区への居住誘導 ・ まちなか居住の推進 ・ 公共交通沿線の居住推進	(カ) 連携中枢都市圏の連携強化 ・ 圏域全体の経済成長のけん引 ・ 高次の都市機能の集積・強化 ・ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上
(ウ) 中山間地域等の地域生活拠点の形成 ・ 中山間地域等の公共交通空白地域解消と生活交通の維持 ・ 新たな移動サービスの導入 ・ 棚田保全と地域振興	(キ) 「富山市版スマートシティ」の実現に向けた取組 ・ IoTを活用した持続可能な社会の実現と次世代技術を活用した新産業の育成支援 ・ スマートシティ推進支援事業 ・ デジタルデバイト対策推進事業 ・ 電子回覧板導入支援事業
(エ) 既存施設のマネジメント強化 ・ ファシリティマネジメントの推進 ・ 歩道のリフレッシュ整備	(ク) 歩きたくなるまちづくりの推進 (再掲)
	(ケ) 新産業の創出及び民間と協働した地域経営 (再掲)

各種施策のKPI進捗状況



KPI : 22件

- A◎(目標達成) : 8件
- AO(目標達成見込) : 6件
- B(目標達成に至っていない) : 7件
(うち達成率70%以上: 1件)
- C(その他)
(実績値把握不可等) : 1件

目標の達成に向けて進捗している施策(A◎・AO)

まちなか居住の推進 (まちなか居住推進事業の補助を受けた世帯数)
: 500世帯 (2020~2024年度累計)
 70世帯/年 (2014~2018年度平均) → **607世帯 (2020~2023年度累計)**

スマートシティ推進支援事業 (「富山市スマートシティ推進プラットフォーム」
 (通称: SCRUM-T) への参画企業数)
: 100社 (2024年度)
 新規 → **160社(2023年度)**

目標の達成に至らない施策(B)

公共交通沿線の居住推進 (公共交通沿線居住推進事業の補助を受けた世帯数)
: 900世帯 (2020~2024年度累計)
 100世帯 (2014~2018年度平均) → **379世帯(2020~2023年度累計)**

3 「第2期」富山市まち・ひと・しごと総合戦略の検証

「第2期」総合戦略について

1 基本目標の「数値目標」について

- ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、「達成（A◎）」または「達成見込（AO）」は全体の4割程度である
- ・基本目標1・2で設定した数値目標は、人口の社会増や県内大学卒業生の県内就職率、有効求人倍率など、施策の効果が現れていない項目もある

2 各施策の「KPI（重要業績評価指標）」について

- ・「数値目標」と同様にコロナ禍の影響もあり、「達成」または「達成見込」は全体の6割弱となっている
- ・達成にいたっていない取組としては、新型コロナウイルス感染症の影響により実績が大幅に減少したものや、企業や市民からの申請・申込により実績が左右されるものが多いという傾向がある

3 全体について

- ・様々な取組の成果が一定程度現れていると考えているが、人口減少は加速化しており、特に若者女性の著しい社会減などの課題が顕在化している
- ・目指すべき社会の実現に向け、社会の変化への対応も取り入れながら各施策の一層の推進を図る必要があるのではないかと

次期総合戦略 策定の考え方

- ・人口減少の「緩和」や、人口減少社会への「適応」
- ・4つの基本目標の維持
- ・数値目標やKPIの進捗状況、現状や課題を踏まえた施策等の一層の強化
- ・新しいテーマの追加